

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年11月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500158
法人名	医療法人 誠心会
事業所名	グループホーム あったかハウス串木野
所在地	鹿児島県いちき串木野市大原町80番地5 (電話) 0996-33-6630
自己評価作成日	平成29年4月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①「ゆっくり、ゆったり、けれどもしっかり」を理念に掲げご利用者様の人格を尊重し、その人らしく生活できるように、努めます。
- ②「あったか地域で、あったか交流、みんなでつくろう、あったかの輪」の理念に基づき地域との交流に積極的に取り組み、外出の難しい人には施設の催しの際に地域の方を招いて、交流していただける様努めていきます
- ③介護相談員の受け入れも行っていきます。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目二番六号
訪問調査日	平成29年11月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体医療法人との24時間医療連携体制が整っており、同法人の他の施設とも連携し生活のサポートを支援している。
- ・地域との交流が活発であり、地域行事の敬老会・十五夜綱引き・さのさ祭り等に参加し、事業所行事の夏祭り・カラオケ大会・敬老会・クリスマスにはボランティアや多くの地域の方が参加し地域との交流を行っている。中高生の職場体験学習、実習生の受け入れもしている。
- ・利用者一人ひとりの個性を把握して、人権を尊重した介護サービスを行っている。
- ・利用者個々人の楽しみに繋げられるよう、手芸クラブや園芸クラブ・料理クラブ・ぬり絵などを取り入れ、その人らしい暮らしができるように支援している。
- ・代表者や管理者は職員育成に力を入れ資格取得に向けた支援を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の中でその人らしく生活できるように支援する理念をつくりあげ、毎日の申し送りの後、全員で唱和し実践につなげられるようにしている。	法人の基本方針と、地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念があり、玄関・リビングに掲示し、案内資料に掲載し、ネーム札裏にも記載して、意識づけしている。申し送りやミーティングの時に唱和して、日々のサービスを振り返り、共有し実践につなげている	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に参加したり、地域の方を施設の行事に招いたりして、地域の方との会話、交流を日常的に行っています。	自治会に加入して、敬老会・十五夜綱引き・さのさ祭り等に参加したり、事業所行事の夏祭り・敬老会・クリスマス会等にも地域住民の多くの参加があり交流を深めている。職場体験学習や実習生の受け入れも行い、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	人材育成の貢献として実習生の受け入れも積極的に行ったり、地域交流や、会議等に参加して頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>サービスの内容や外部評価についての説明や結果報告を行い、行政・地域の方々の意見を聞き、その後職員全委員で検討しサービスの向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価の報告などを行い、参加者からも多くの助言や提案がある。地域の情報等が話されたり、助言で車椅子やリクライニングでの避難活動に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>あったかだよりや運営推進会議の記録等をその都度持参し、意見を聞いたり、入居者様や、ご家族様の相談にお手紙、電話等により聞いたりしながら協力関係を気づくように取り組んでいる。</p>	<p>市担当者には、窓口に出向いたり電話で事業所の実情や取り組みを伝え、連携を深めている。市の介護相談員の受け入れも行っている。市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月1回身体拘束廃止委員会を開催し、具体的な例を挙げ日頃の自分たちのケアに照らし合わせ身体拘束をしないケアに努めている。</p>	<p>マニュアルに沿って身体拘束廃止委員会を毎月開催し、具体的な事例をあげて職員の共通認識を図っている。全体研修ではDVDを活用している。言葉による拘束についても日々確認している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、見守りや同行など職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>毎月ミーティングや勉強会等にて高齢者虐待防止法について学ぶ機会を持ち、また、日頃より職員同士の言動や行動に注意を払い、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>誠心会全体による勉強会等に参加し、自施設での勉強会により全職員に学ぶ機会を持っている。対応者が必要と思われる利用者がいる場合には、運営者の指示により説明、アドバイスをを行い支援できる体制となっている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、事業所の考え方や取り組み、退居を含めた対応可能な範囲について説明を行っています。又、起こりうるリスク、重度化や看取りについての対応、医療連携の実際について詳しく説明し同意を得ています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日頃の会話の中や家族会等で常に問いかけ、何でも言っていたりするような雰囲気作りに留意しており、又、玄関に意見箱を置いたり、面会簿に意見欄を付け書いていただき運営に反映させています。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、介護相談員の結果も参考にしている。家族からは面会や家族会・電話・アンケート・運営推進会議が意見を聞く良い機会となっている。面会簿には意見欄を設けている。食事の形態の要望やケアに関する事等が出され、改善して運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月ミーティングや勉強会を行い意見を聞いたり、日頃から意見や要望等を言いやすい雰囲気作りを行っています。	管理者は毎月のミーティングや申し送り・気づきノート等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。出された意見で、おむつの大きさや転倒防止の配慮に関する意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎月勉強会等を行い、職員や職場の状況報告等を行い問題点を話し合い向上心を持って働けるように現場環境、条件の整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の事業所内の研修だけでなく、事業所外の研修にも多くの職員が受講できるようにしており、研修報告もミーティングや勉強会にて発表してもらっています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所の職員と意見交換や相談等をおこなったり、他施設見学を取り入れたネットワークづくりを行いサービスの質を向上させています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談受付時や契約時にご本人様から可能な限り情報収集を行い、求めていることや不安を理解し、共有することによって安心を確保するための関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談受付時や契約時にご家族様から可能な限り情報収集を行い、求めていることや不安を理解し、共有することによって安心を確保するための関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご相談を受けた時、入居者様やご家族様の思い、状況等を確認し、改善に向けた支援の提案や相談を繰り返す中で信頼関係を築きながら、必要なサービスにつなげるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており普段から入居者様に教えていただける場面が多くもてるように工夫や声かけに配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様のご家族に月1回様子や写真を添えてお手紙を送付、必要に応じて電話をさしあげたりし、日々の暮らしの出来事や気付きの情報共有に努め、ご本人を支えていくための協力関係を気づいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様の一人ひとりの生活習慣を尊重し、これまでの経験を生かした暮らしが出来るよう支援しています。また、毎月ドライブの日をもうけ入居者様の家や思い出の場所に行き知人と会話をしたり、人や場所との関係がとぎれないように支援しています。	行事計画をたて、地域の夏祭り・初詣・ドライブ等に行き、馴染みの知人友人と交流している。知人や家族の面会も多い。馴染みの場所の神社や墓参りツアー・美容室等、人や場所との関係が途切れないように、年賀状や手紙にも対応して支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日のお茶や食事、レクリエーションの時間に多くの会話をもちみんな楽しく過ごす時間や気の合う者同士で過ごせるような場面づくりをするなど、入居者様同士の関係がうまくいくように、職員が調整役となって支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの利用が終了された方も、職員が様子を見に行ったり、又、ご家族からの相談にのったり、継続的な付き合いができるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中での会話や表情などからその真意を推し測ったり、それとなく確認するようにしている。又、意思疎通が困難な方には、ご家族様や関係者から情報を得るようにしています。	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時に関係者から聞き取りをしたり、契約時及び面会時に時間をかけ、暮らしの情報や生活環境についてお聞きし、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の一人ひとりの状態を把握し、心身の状態を考えながら、できないことより出来る事に注目し、その人全体の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様が自分らしく暮らせるようご本人やご家族様の要望を聞き、職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っています	本人・家族・必要な関係者の意向を確認し、担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の気づきや入居者様の状態変化は、個々の記録に記載し、職員間の情報共有をしています。又、個別記録を基に介護計画の見直し、評価を実施しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日常生活の中で利用者様一人一人のニーズに対応した支援やサービスに取り組んでいる。また、利用者様やご家族様のご希望に応じて多機能について説明等を行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流や消防、学校関係からの訪問があり、周辺施設からの理解、協力が得られるように取り組んでいます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人やご家族様が希望するかかりつけ医となっています。主体が病院なので医療連携はもちろん、適切な医療が受けられるように支援しています。</p>	<p>本人・家族の希望で母体医療機関がかかりつけ医になっている。月2回の往診があり、要望に応じて訪問看護もある。歯科は毎月訪問診療があり、眼科は往診である。週1回は看護師の訪問で、24時間医療連携体制が整っており、緊急時の対応等、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職員として看護職員も配置しているが、他、訪問看護との契約に基づき、日頃の健康管理や医療面での相談、助言を行ってもらい、職員と、訪問看護師とは気軽に相談できる関係が出来ており看護師と医療機関との連携も密にとれる体制が確保されています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、ご本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、頻繁に職員が見舞うようにしています。また、ご家族様とも回復状況等情報交換しながら、速やかな退院支援に結び付けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に看取りに関する説明を行いご家族様の希望があれば終末期に向け入居者様、ご家族様、主治医、看護師、職員全員で方針を話し合うようにしています。</p>	<p>契約時に重度化や看取りに伴う対応の指針を説明し、同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族と話し合い、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取り希望の場合は家族・主治医・看護師・職員が連携を取り、随時意思を確認しながら取り組んでいる。看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の協力を得て、勉強会に救急手当や蘇生術等の実技を取り入れ、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っています。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回入居者様、地域の方と一緒に避難訓練を行っており、地域協力体制について、運営推進委員会や連絡網にも記載し協力をお願いしています。</p>	<p>年2回避難訓練を行い、1回は消防署立ち合いで地域住民も参加している。マニュアルもあり、連絡網・非常ベル・避難経路・消防施設の点検等を行っている。風水害の訓練も実施して消防署の指導・助言を受けている。ホームは、地域の避難場所になっており、災害時の非常食は、水・カレー・けんちん汁・サバ缶等、常備して、地域との協力体制を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人一人の尊厳を重んじ個々に合わせた言葉使いや対応を心がけるよう会議等で全職員に周知してもらうようにしています。	法人の研修会に参加し、個々の尊厳を守り、人格を損ねない対応・人権擁護について学習している。ホームでもマニュアルに沿って勉強会を行い、誇りやプライバシーを守るケアに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、入居者様の言葉、行動等により、希望、関心、嗜好を見極めご利用者様が選びやすい場面を作ったり、入居者様の意志を尊重するように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の体調に配慮しながら、その日、その時の本人の気持ちを尊重して、出来るだけ個別性のある支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	更衣は、入居者様の意向を尊重し、必要なときには、職員も一緒に考えたりして入居者様の気持ちに沿った支援を行っている。理美容については、ご本人の希望に添えるよう連携を取っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と一緒に採った畑の野菜を使って調理をし、利用者様と職員が同じテーブルを囲んで楽しく食事ができる雰囲気大切にするようにしています。	栄養士の献立である。菜園の野菜や旬の食材で、利用者の希望を取り入れた献立で、ミキサー食・とろみ食にも対応し食事形態を工夫している。利用者職員が同じテーブルを囲んで会話を楽しむ雰囲気である。誕生会やおせち料理・敬老会・クリスマス会など、季節の行事食を楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量を毎回チェックし、職員全員が入居者様の食事状況を把握できるようにしています。状態によっては、職員で検討したり、管理栄養士に相談して食事形態を変更するなどの工夫を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後見守り、介助にて口腔ケアを行っている。毎月1回歯科医師により舌・義歯洗浄や口腔ケア及び指導、助言も受けています。口腔マッサージ支援もしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様の個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導や介助を支援しています。尿意のない入居者様にも時間を見計らって誘導することにより、トイレで排泄できるように支援しています。	排泄のリズムを把握し、必要に応じて声かけをして、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。排泄後の清潔保持や排泄用品の選択にも心配りして支援を行っている。オムツを減らす取り組みに改善がみられた事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の工夫や、散歩、軽体操等により自然に排泄できるように取り組み、必要に応じて医療連携により主治医に相談しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴時間は決めてはあるが、毎日入居者様のご希望を確認して、その時間以外でも入浴できるように努めています。	入浴は基本的には週3回、午前中になっているが、個々人の体調を考慮して柔軟に対応している。入浴日以外にも状況に合わせてシャワー浴で清潔保持に努めている。入浴を拒む利用者にも声かけや時間調整など職員間で連携して、状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の体調や表情を考慮し、日中の活動を促し、夜間の安眠へとつなげている。寝付けないときには、おしゃべりをす等配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬を一覧表にし、職員全員が把握できるようにしている。服薬後も異常、変化がないか注意し異常があればすぐに病院、主治医へ連絡するようになっています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>園芸、料理、手芸その他の活動の中で、お一人おひとりの力を発揮してもらえるようお願いし、お絞りづくり、新聞たたみ等していただき、その後感謝の言葉をかけるように心がけています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>入居者様の気分や希望に応じて、散歩、買い物、ドライブ等に出かけ季節を肌で感じてもらう心身の活性につなげるよう支援しています。</p>	<p>日常的には周辺の散歩や菜園の手入れを楽しんでいる。利用者の希望でドライブや買い物にも出かけている。計画を立てて、初詣や遠足・花見・地域行事にも出かけている。墓参りツアーもあり、家族の協力での外出・外食などの支援も行われている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物に出かけた場合は、入居者様ご自身で、お好みの物を選んでいただいたり、お支払いをしていただいたりして、買い物を楽しんでいただけるよう、支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族様、知人等に電話しやすい雰囲気をつくったり、他の入居者様に聞こえないように子機を使って自室にて話していただくなど配慮したり、日常的に電話や手紙をだせるように支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様にとって使いやすい配置や馴染みの物を取り入れ家庭的な雰囲気になるように心がけ、おやつや壁飾りは、入居者様と一緒に考え季節あるものになっています。</p>	<p>共用空間は広々として明るく、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。窓からは周辺の景色が見える。ソファが置かれ畳部屋もあり、好きな場所でゆっくりくつろげる。壁には利用者の作品の書道や行事の写真・職員と一緒に作成した貼り絵などが掲示してあり、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>スペースがあり、個々自由に和室やソファでくつろいでいただいたりと思い思いに過ごせるスペースを確保しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、写真や手作りカレンダー等入居者様それぞれの居室作りが行われるよう配慮しています。</p>	<p>居室はベッド・エアコン・クローゼット・洗面台が設置され、寝具はリースになっている。家から持ち込まれた、家族写真・額縁・手作りカレンダー・小物等があり、窓も広く外の景色が見えて開放感がある。畳の部屋もあり、居心地よく過ごせるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>バリアフリーで設計しており、いたる所に手すりなども設置しており、居住環境が適しているかを見直し、安全確保と自立への配慮をしています。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない